

件名	3陳情第12号 核兵器禁止条約の署名・批准を求める陳情
<p>76年前、人類の上に初めて降り注いだ原爆という巨大な暗黒の物質は、広島、長崎を一瞬にして焦土と化しました。そして多くの人びとに惨たらしい死をそして今なお続く苦しみをもたらしています。</p> <p>今年1月22日核兵器の開発、保有、使用などを全面的に禁ずる『核兵器禁止条約』が人類史上初めて発効しました。</p> <p>菅首相は8月、広島、長崎で「核兵器のない世界と恒久平和の実現に向け力を尽くす」と述べました。日本は未だに条約の署名・批准に至っていません。原爆の恐ろしさを一番よく知る日本だからこそ率先して核兵器禁止条約に署名し、批准すべきです。</p> <p>私たちにはそれぞれの戦争の記憶の上に戦後があります。広島、長崎の惨禍を忘れることは、その歴史と人としての心を忘れることです。時流に流される軍拡競争ではなく、命こそ大切にすべきです。</p> <p>核の傘のもと、国を守るため核は必要だとする核抑止の考え方は、核戦争への危険性をより一層増大するものです。二度と核を人類の上に許してはいけません。</p> <p>瑞穂町議会は、唯一の戦争被爆国である日本が一日も早く『核兵器禁止条約』に署名・批准するよう政府に求める意見書を提出してください。</p>	

※原文のまま掲載しています。